

競技注意事項

1 本大会は、令和4年度日本陸上競技連盟競技規則、本大会規則及び監督会申し合わせ事項により行う。なお、3密にならないよう十分注意し、手洗いの徹底、アップ中・競技中以外のマスクの着用を推奨する。

2 招集について

- (1) 招集所での招集は行わない。棄権届けは、必ず事前に提出すること。当日急に出場できなくなった者は、大会本部（記録室）へ申し出ること。
- (2) 競技者は、招集時刻にトラック競技はスタート位置（4×100mRはそれぞれのスタート場所）、フィールド競技はそれぞれの競技場所で点呼を受ける。
- (3) 招集時刻は次の招集時刻一覧表のとおりとする。

競技種目	招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	競技開始15分前	競技開始10分前
フィールド競技	競技開始40分前	競技開始30分前

- (4) 招集時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして出場を認めない。
- (5) 監督会議前にリレーのオーダー用紙を配付する。各学校の監督は、監督会議終了後に大会本部へオーダー用紙を提出する。なお、ケガ等の理由によりオーダーを変更する場合は、競技開始60分前までに大会本部（記録室）へ報告すること。

3 組み合わせ・走路・試技順

- (1) レーン順・競技順は、主催者が決定しプログラムに記載する。
- (2) トラック競技の決勝とフィールド競技の試技順は、本大会本部の抽選により決定する。
- (3) 予選がある種目については、タイムレース予選の全体上位8名を決勝進出者とする。ただし、1000分の1秒まで計測し、同タイムの場合は抽選により決定する。

4 走高跳のバーの上げ方について

種別	練習	試技
男子	105cm	110cmから5cmきざみ160cmまで 以後3cmきざみ
女子	100cm	105cmから5cmきざみ140cmまで 以後3cmきざみ

※バーの上げ方は、天候等特別な状況が生じた場合、審判長の判断で変更することもある。

5 ハードル競技のインターバルについて

性別	種目距離	ハードルの高さ	インターバル			
			スタートから1台目	ハードル間	最終ハードルからゴール	ハードル台数
男子	110mH	91.4cm	13.72m	9.14m	14.02m	10台
	100mH	84.0cm	13.00m	8.50m	10.50m	10台
女子	100mH	76.2cm	13.00m	8.00m	15.00m	10台
	80mH	76.2cm	12.00m	7.50m	15.50m	8台

6 投てき種目の用具の重量について

男子の砲丸投は5kg、女子の砲丸投は2.72kgとする。

7 その他

- (1) スパイクは全天候型トラック用のピンとし、トラックは7mm以下、フィールドは9mm以下を使用すること。また、競技用靴の靴底の厚さについては、シューズに関する競技規則を適用する。ただし、フィールド競技用シューズの靴底の厚さについての規則については適用外である。
- (2) スターターのコールは英語（「オン・ユア・マークス」、「セット」）とし、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格させられる。
- (3) アスリートビブスは県中体連専門部より通知された番号を使用する。なお、トラックレース出場者は、大会本部から貸与される腰ナンバーを使用し、レース終了後直ちに返却すること。ただし、ハードル種目を含む400mまでの種目と4×100mRは腰ナンバーカードを使用しない。
- (4) ウォーミングアップ場として西階中学校運動場を開放する。ただし、ドリルなどの動きづくりやアップシューズでの流し程度のアップは認める。なお、競技場内におけるスパイク流し程度のアップは認めるが、競技に支障がない時間帯のみとする。
- (5) 開会式、閉会式、表彰式は行わない。